

2013

神戸学院大学

Green Festival

第339回 5月26日(日) 14:30 開演(開演時刻にご注意ください)
神戸学院大学吹奏楽部 第27回サマーコンサート
 指揮/松井隆司(音楽監督)

第340回 6月1日(土) 15:00 開演
鈴木華重子(ピアノ)
田中美奈(ヴァイオリン) トリオの午後
金子鈴太郎(チェロ)
 — ベートーヴェン ピアノ・トリオ全曲連続演奏 第5回(最終回) —

第341回 6月8日(土) 15:00 開演
三原 剛(バリトン) が語る「イノック・アーデン」
 ピアノ / 小坂圭太

第342回 6月22日(土) 15:00 開演
林口眞也(チェロ) デュオの午後
風呂本佳苗(ピアノ)

第343回 7月16日(火) 17:00 開演(開演時刻にご注意ください)
狂言をたのしむ会
 演目:『右近左近』・『栗田口』
 出演者:茂山千三郎、茂山正邦、茂山茂、丸石やすし、松本薫



入場無料

会場/神戸学院大学有瀬キャンパス メモリアルホール(9号館6階)

主催/神戸学院大学 後援/兵庫県、(公財)神戸市民文化振興財団 参加/関西元気文化圏

- お申込方法 | 往復ハガキを使用してください。私製ハガキや2枚のハガキの貼り合わせは避けてください。申込者多数の場合は抽選になります。
- ・往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。
 - ・返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。
 - ・返信表面は空白のままをお願いします。
 - ・1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。
 - ・受付期間は各公演の1ヶ月前～2週間前(必着)です。
 - (※土曜日の場合は月曜日、日曜日・祝日・休日の場合は翌日)
 - ・学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。

～個人情報取扱について～

入場申込往復ハガキにご記入いただいた個人情報は、電話での申込内容の確認、入場券の発送(抽選の場合の結果通知含む)、申込状況の統計分析に限り使用します。

- お申し込み・お問い合わせ先
 〒650-8586

(この郵便番号を使うと住所は省略できます)

神戸学院大学グリーンフェスティバル係

電話078-974-6105(担当部署:社会連携グループ)

- 交通経路と所要時間

- ① JR「明石」駅より神姫バス「神戸学院大学行」に乗車(約20分)
- ② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より神姫バス「神戸学院大学経由明石駅行」に乗車(約10分)
- ③ JR「朝霧」駅より神姫バス「神戸学院大学行」に乗車(約10分) <(注)運行本数少>
 お車でのご来場は固くお断りいたします。

関西から



神戸学院大学 <http://www.kobegakuin.ac.jp/>

ご案内

グリーンフェスティバルは、地域の方々や本学の学生・教職員に一流の舞台芸術に接していただくべく、毎年春と秋に各5～9回の公演を無料で提供しています。西欧のクラシック音楽、多種多様な演劇、ダンスなどを中心に国内外のアーティストを招き、非常にレベルの高い、また一般の催しとは一味違う公演を企画しており、その独自性が高く評価されています。

神戸学院大学吹奏楽部 第27回サマーコンサート

指揮/松井隆司（音楽監督）

- 曲目 ● 神戸学院大学学歌『緑漲る』
● 2013年度全日本吹奏楽コンクール課題曲Ⅳ『エンターテインメント・マーチ』 他

今年のサマーコンサートは1部がシンフォニックステージ、2部がジブリ映画「となりのトトロ」をテーマにしたステージとなっております。吹奏楽が好き、トトロが好き、幅広い世代の方々を楽しめる演奏会を目指して日々練習を行っています。「また来たい」と思っていただけよう、演奏だけでなく企画なども工夫していますので、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

鈴木華重子・田中美奈・金子鈴太郎 トリオの午後

- 曲目 ● ベートーヴェン…………… ピアノ三重奏曲 第3番 ハ短調 作品1-3
● ベートーヴェン…………… ピアノ三重奏曲 第7番 変ロ長調 作品97「大公」

好評のうちにこれまで4回にわたりすすめられてきたベートーヴェンのピアノ・トリオ全曲（通常の番号つきの作品のみならず、一応作曲者の編曲とされているものや断片的なものまで入れた12曲）の演奏ですが、今回が最終回で、全14曲をご紹介しますことになります。「第5交響曲」を初めとして、「ベートーヴェンのハ短調」には特別な意味合いがあるとされますが、ハイドンの交響曲から大きな刺激を受けて、それが初めて刻印されたと言われる作品1-3、それに彼のピアノ・トリオの中ではもちろん、古今の室内楽曲の中でもとびきりの傑作のひとつとされる「大公」トリオで5回にわたったプロジェクトを締めくくります。今回も充実した演奏になることでしょう。なお、開演前の余興として、昨年2回にわたり「ミステリー・ピース」のクイズを行いました。鈴木さんも興味を示して下さり、3回目を行います。

三原 剛が語る「イノック・アーデン」

- 曲目 ● 山田耕筰 …………… 鐘が鳴ります / 六騎 / 待ちぼうけ
● 山田耕筰 …………… かっぱれ（ピアノ・ソロ）
● R.シュトラウス…………… あすの朝 作品27-4 / 献呈 作品10-1
● R.シュトラウス…………… 「5つのピアノ小品」より第1番 変ロ長調 作品3-1（ピアノ・ソロ）
● R.シュトラウス…………… メロドラマ「イノック・アーデン」 作品38
（原詞・アルフレッド・テニスン 畑中良輔の訳詞による日本語上演）

これまで2回にわたり「騎士的バリトン」と呼ばれる深味ある声をご披露下さった三原さんの3回目の登場。今回の目玉は30歳代のシュトラウスの意欲作「イノック・アーデン」です。クラシックの作曲家の作品としては「ピアノ付き朗読」という珍しいかたちをとるものですが、シュトラウスはイギリス・ヴィクトリア朝（19世紀）を代表する詩人テニスンの物語詩をアドルフ・シュロットマンがドイツ語に訳したものを取りあげ、音楽をつけました。今回は昨年急逝された声楽界の重鎮、畑中良輔氏の訳が用いられます。三原さんは昨年11月に大阪でこれを披露されて、その表現力ある語り口が満場を沸かせました。どうぞご期待ください。前半は山田耕筰とシュトラウスの歌曲とピアノ曲です。

林口眞也・風呂本佳苗 デュオの午後

- 曲目 ● フンメル …………… チェロとピアノのための大ソナタ イ長調 作品104
● ブリッジ …………… チェロとピアノのためのソナタ
● マルティヌー …………… スロヴァキアの主題によるチェロとピアノのための変奏曲
● アルファード …………… チェロとピアノのためのソナタ

大阪フィルの古くからメンバーであり、林泉弦楽四重奏団の一員として、ベートーヴェンの四重奏全曲演奏を披露して下さった林口さんが11回目のグリーン・フェスティバル登場の風呂本さんと組んだデュオの会です。曲目がきわめて意欲的なもので、知らない作曲家ばかりだとおっしゃる方が多いでしょう。フンメルの曲はフェスティバルでご紹介したことがあります。他の3曲は初めてご紹介するものですし、チェリストの会でもまず登場しない曲です。しかし、これらは決して「難しい」曲ではなく、聴きやすく、魅力的なフレーズも持つ曲です。こちらから注文したのはアルファードですが、「知られざる佳曲」をご紹介するのはグリーン・フェスティバルのコンセプトのひとつであることを知っておられる林口さんがそのような作品でまとめて下さったプログラムかもしれません。貴重な機会をお楽しみください。

狂言をたのしむ会

『右近左近』 茂山千三郎・丸石やすし 『栗田口』 茂山正邦・茂山茂・松本薫

ひさしぶりの狂言会です。今回は、大いに笑っていただき、またじっくりと味わっていただける名作2本を用意しました。『右近左近（おこさこ）』は、ワケありの夫婦を描いた異色作。『栗田口（あわたぐち）』は、大名が人の良さと無知につけこまれて失敗するおかしな話。いずれも京都の名門、茂山千五郎家を背負うみなさんによるベストの配役。神戸学院大学でなければ見られない充実したプログラムになりました。この機会に、狂言の魅力を存分にたのしんでください。